



* M A L 9 2 7 E *

LIXIL

パワーアルファ

下止めタイプ

取付け説明書

●この説明書について

- 必ず取付けされる方にお渡しください。
- ※ □内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注 意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- 本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。右記の表にしたがって取付けてください。
- 他社商品(バルコニーなど)と組合わせて設置しないでください。
- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- 崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。

■パワーアルファ 下止めタイプ

	1階	2階	3階	4階
3・4尺	○	○	○	○
5・6尺	○	○	○	×
7~9尺	○	○	×	×

●軀体への固定

- 垂木掛け、柱壁付固定部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。軀体位置が分からぬ場合、および軀体が強度保持できない場合は取付けないでください。
- 軀体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

- 組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締付けてください。
- 取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ・ガタツキがないことを必ず確認してください。

▲注 意

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- ・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(Φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分(4日~1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えることなくしてください。
- ・コンクリート(又はモルタル)に急結剤は絶対に使用しないでください。

●パネルについて

- ・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- ・屋根パネルの取付けは垂木へののみこみが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

●取付け上について

- ・みだりに改造・変更をしないでください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定箇所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリングを使用する場合、アクリル板およびポリカーボネート板のシーリングは、ひび割れ防止のために、当社指定の脱アルコール型シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

●プライマーについて

- ・プライマーが必要な場合は必ず処理を施してからシーリングを行ってください。

■取付け上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出てください。
- 取付けは専門業者が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 取付け時は必ず足場を設けてください。

- 前枠の内観右側にブランドラベルが張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベルがなくならないようにしてください。

■梱包明細表

●柱セット

主柱	柱固定金具	柱固定金具裏板	アンカーバー	その他明細
				・六角ボルト(セムス)M8×16

●長さセット(F型)

前枠F(Aタイプ)	前枠F(Cタイプ)	垂木掛け	グレチャン(関東間用)	後付けビード

●長さセット(L型)

前枠L(Aタイプ)	前枠L(Cタイプ)	垂木掛け	グレチャン(関東間用)	後付けビード

●長さセット(RA型)

前枠RA(Aタイプ)	前枠RA(Bタイプ)	垂木掛け	グレチャン(関東間用)	後付けビード

●長さセット(RB型)

前枠RB(Aタイプ)	前枠RB(Cタイプ)	垂木掛け	グレチャン(関東間用)	後付けビード

●桁Aセット

補強桁A	その他明細
	・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●桁Bセット

補強桁B	その他明細
	・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●端部垂木セット(F型下止め)

端部垂木(左・下止め)	端部垂木(右・下止め)	後付けビード(下止め)

●端部垂木セット(L・RA・RB型下止め)

端部垂木(左・下止め)	端部垂木(右・下止め)	後付けビード(下止め)

●中間垂木セット(F・L型下止め)

中間垂木C(下止め)	後付けビード(下止め)

●中間垂木セット(RA・RB型下止め)

中間垂木B(下止め)	後付けビード(下止め)

●長さ連結材セット(F型)

前枠スリーブF	前枠ジョイントカバー	前枠ジョイントカバー(2.5間用)	その他明細
			・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●長さ連結材セット(L型)

前枠スリーブL	前枠ジョイントカバー	前枠ジョイントカバー(2.5間用)	その他明細
			・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●長さ連結材セット(RA型)

前枠スリーブRA	前枠ジョイントカバー	前枠ジョイントカバー(2.5間用)	その他明細
			・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●長さ連結材セット(RB型)

前枠スリーブRB	前枠ジョイントカバー	前枠ジョイントカバー(2.5間用)	その他明細
			・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●桁連結材セット

補強桁Aスリーブ	補強桁Bスリーブ	補強桁Cスリーブ	その他明細
			・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・ナベタッピンねじ(3種)φ4×25

●桁端部部品セット

補強桁A端部キャップ	補強桁B・C端部キャップ	補強桁D端部キャップ	その他明細
			・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●野縁セット

野縁	その他明細
	・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

●前枠スペーサーセット

前枠スペーサー	その他明細
	・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

■梱包明細表

●組立て部品セット(F型下止め)

前枠端部キャップ (F型 右用)	前枠端部キャップ (F型 左用)	垂木掛け端部キャップ (F型 右用下止め)	垂木掛け端部キャップ (F型 左用下止め)	その他明細	
				・十字穴付き六角ボルトM4×12 ・平ワッシャーM4用 ・六角タッピンねじ(1種)φ6×70 ・平ワッシャーM6用	・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・ナベドリルねじφ4×13 ・取付け説明書(下止めタイプ)

●組立て部品セット(L型下止め)

前枠アタッチA (L型 右用)	前枠アタッチA (L型 左用)	前枠端部キャップA (L型 右用)	前枠端部キャップA (L型 左用)	垂木掛け端部キャップ (右用)	垂木掛け端部キャップ (左用)	その他明細	
						・すき間ふさぎ材 ・十字穴付き六角ボルトM4×12 ・平ワッシャーM4用 ・六角タッピンねじ(1種)φ6×70	・平ワッシャーM6用 ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・ナベドリルねじφ4×13 ・取付け説明書(下止めタイプ)

●組立て部品セット(RA型下止め)

前枠端部キャップ (RA型 右用)	前枠端部キャップ (RA型 左用)	垂木掛け端部キャップ (右用)	垂木掛け端部キャップ (左用)	その他明細	
				・すき間ふさぎ材 ・十字穴付き六角ボルトM4×12 ・平ワッシャーM4用 ・六角タッピンねじ(1種)φ6×70	・平ワッシャーM6用 ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・ナベドリルねじφ4×13 ・取付け説明書(下止めタイプ)

●組立て部品セット(RB型下止め)

前枠端部キャップ (RB型 右用)	前枠端部キャップ (RB型 左用)	垂木掛け端部キャップ (右用)	垂木掛け端部キャップ (左用)	その他明細	
				・すき間ふさぎ材 ・十字穴付き六角ボルトM4×12 ・平ワッシャーM4用 ・六角タッピンねじ(1種)φ6×70	・平ワッシャーM6用 ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・ナベドリルねじφ4×13 ・取付け説明書(本体)

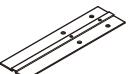
●造付け屋根組立て部品セット(中間用)

・十字穴付き六角ボルトM4×12 ・平ワッシャーM4用 ・六角タッピンねじ(1種)φ6×70 ・平ワッシャーM6用	・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・WHタッピンねじ(1種)φ4×10(D=10) ・WHタッピンねじ(2種)φ4×10(D=10)
--	---

●造付け屋根組立て部品セット(コーナー用)

テラス柱壁付け固定部品 (コーナー用)	柱キャップ	その他明細		
		・六角ボルトM8×90 ・平ワッシャーM8用 ・スプリングワッシャーM8用	・袋ナットM8用 ・六角タッピンねじ(1種)φ6×70 ・平ワッシャーM6用	・スプリングワッシャーM6用 ・トラスタッピンねじ(3種)φ5×12 ・取付け説明書

●持出し柱セット

持出し柱A	持出し柱B	持出し柱コーナー金物	柱取付けキャップ	アンカー棒	柱固定金具スペーサー	柱固定金具裏板	当て板	その他明細
								・六角ボルトM8×90 ・ナベ小ねじM6×10 ・ナベタッピンねじ (3種)φ4×12

●屋根パネルセット

・パネル3尺 ・パネル4尺 ・パネル5尺 ・パネル6尺

■梱包明細表

●縦樋セット

縦樋(L=3000)	縦樋(L=3600)	雨樋アタッチメント	穴ふさぎキャップ	雨樋パッキン	92°エルボ	ドレンエルボ	雨樋でんでん	その他明細
								・接着剤 ・トラスタッピンねじ (3種)φ4×14

●雨樋セット

雨樋アタッチメント	穴ふさぎキャップ	雨樋パッキン	その他明細
			・トラスタッピンねじ (3種)φ4×14

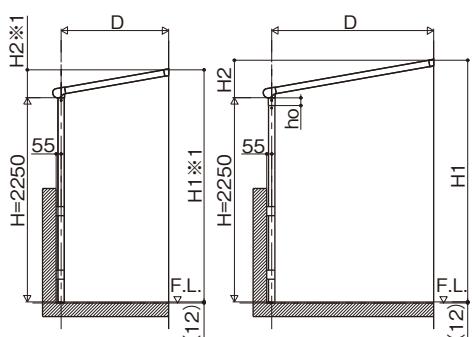
●ジャバラセット

ジャバラ	ジャバラ用ソケット	その他明細
		・取付け説明書

姿図

●造付けバルコニー接続

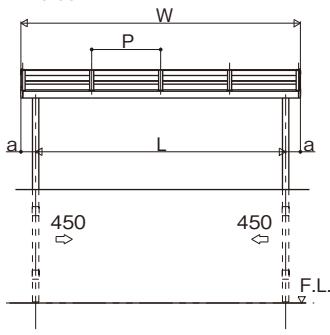
〔F型〕



D:出幅寸法
H1:GL～垂木掛け上
H2:前枠下～垂木掛け上

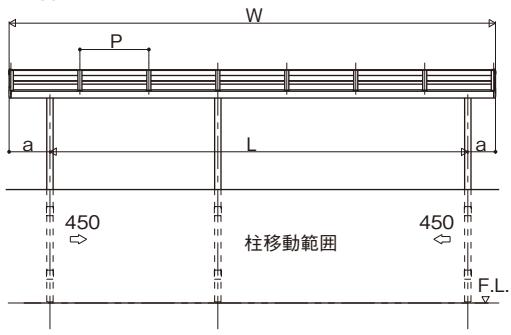
D:出幅寸法
H1:GL～垂木掛け上
H2:前枠下～垂木掛け上
ho:補強桁高さ

·单体



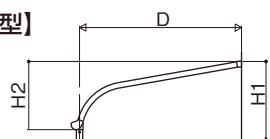
W:屋根幅(端部垂木～端部垂木)
L:柱芯々距離
P:垂木ピッチ
a:柱芯～屋根の幅

·清植

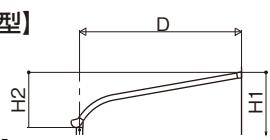


W:屋根幅(端部垂木～端部垂木)
L:柱芯々距離
P:垂木ピッチ
a:柱芯～屋根の幅

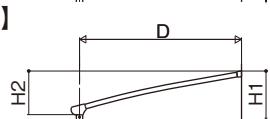
〔RA型〕



〔RB型〕



【L型】



■寸法図(mm)

			F型		L型		RA型		RB型		ho(補強桁高さ)			
タイプ	出幅	D	H1	H2	H1	H2	H1	H2	H1	H2	1.0~2.0間	2.5間通し		
900 タイプ	3尺	885	2504	254	2549	299			2699	449	—	※1		
	4尺	1185	2557	307	2602	352			2752	502				
	5尺	1485	2610	360	2678	428	2953	703	2805	555	関東間※1 関西間85			
	6尺	1785	2663	413	2731	481	3006	756	2858	608				
	7尺	2085	2716	466	2783	533			2910	660	85	120		
	8尺	2385	2769	519										
	9尺	2685	2822	572										
1500 タイプ	3尺	885	2504	254					2699	449	※1			
	4尺	1185	2557	307					2752	502				
	5尺	1485	2610	360			2953	703	2805	555				
	6尺	1785	2663	413			3006	756	2858	608				
	7尺	2085	2716	466					2910	660	※1 120			
	8尺	2385	2769	519										
	9尺	2685	2822	572										

※1 はH1、H2+25とする。

※本図は標準柱を示す。長尺柱は、標準柱の+450mm。

■寸法図(mm)

間口	関東間				関西間・九州 四国間・メータ				関西間				九州四国間				メーター	
	W	P	L	a	W	P	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a
1.0間	2320		1850	235	2545		2050	247.5	1945	300	2000	272.5						
1.5間	3080	760	2755	162.5	3380	835	3005	187.5	2900	240	3000	190						
2.0間	3840		3650	95	4215	(417.5)	3960	127.5	3855	180	4000	107.5						
2.5間通し	5360		4605	377.5	5885		5055	415	4845	520	5000	442.5						

※屋根W寸法は部材の外々寸法を示す。キャップを含めた外々寸法は+7mm(片側3.5mm)。

※1:出幅8尺以上の屋根ピッチ(P寸法)は()内の寸法を示します。

■姿図

■F型 連棟 寸法図(mm)

間口	関東間				関西間・九州 四国間・メーター				関西間				九州四国間				メーター			
	W	P	L	a	W	P	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a		
2.5間(1.0間+1.5間)	5360		4605	450	305	5885			5055	475	355	4845	580	460	5000	525	360			
3.0間(1.5間+1.5間)	6120	760	5510	305	6720		835		6010	355	5800	460	6000	360						
3.5間(1.5間+2.0間)	6880	(380)	6405	305	170	7555	(417.5)		6965	355	235	6755	460	340	7000	360	195			
4.0間(2.0間+2.0間)	7640	※1	7300	170	8390	※1			7920	235	7710	340	8000	195						
4.5間(1.5間+1.5間+1.5間)	9160		8265	447.5	10060				9015	522.5	8700	680	9000	530						
5.0間(1.5間+2.0間+1.5間)	9920		9160	380	10895				9970	462.5	9655	620	10000	447.5						

※屋根W寸法は部材の外々寸法を示します。キャップを含めた外々寸法は+7mm(片側3.5mm)。

※1:出幅8尺以上の屋根ピッチ(P寸法)は()内の寸法を示します。

■RA型 連棟 寸法図(mm)

間口	W	P	L	a
2.5間(1.0間+1.5間)	5360		4605	450
3.0間(1.5間+1.5間)	6120		5510	305
3.5間(1.5間+2.0間)	6880	760	6405	305
4.0間(2.0間+2.0間)	7640		7300	170
4.5間(1.5間+1.5間+1.5間)	9160		8265	447.5
5.0間(1.5間+2.0間+1.5間)	9920		9160	380

※屋根W寸法は部材の外々寸法を示します。キャップを含めた外々寸法は+7mm(片側3.5mm)。

■RB型 連棟 寸法図(mm)

間口	関東間				関西間・九州 四国間・メーター				関西間				九州四国間				メーター			
	W	P	L	a	W	P	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a		
2.5間(1.0間+1.5間)	5360		4605	450	305	5885			5055	475	355	4845	580	460	5000	525	360			
3.0間(1.5間+1.5間)	6120	760	5510	305	6720		835		6010	355	5800	460	6000	360						
3.5間(1.5間+2.0間)	6880	(380)	6405	305	170	7555	(417.5)		6965	355	235	6755	460	340	7000	360	195			
4.0間(2.0間+2.0間)	7640	※1	7300	170	8390	※1			7920	235	7710	340	8000	195						
4.5間(1.5間+1.5間+1.5間)	9160		8265	447.5	10060				9015	522.5	8700	680	9000	530						
5.0間(1.5間+2.0間+1.5間)	9920		9160	380	10895				9970	462.5	9655	620	10000	447.5						

※屋根W寸法は部材の外々寸法を示します。キャップを含めた外々寸法は+7mm(片側3.5mm)。

※1:出幅8尺以上の屋根ピッチ(P寸法)は()内の寸法を示します。

■L型 連棟 寸法図(mm)

間口	関東間				関西間・九州 四国間・メーター				関西間				九州四国間				メーター			
	W	P	L	a	W	P	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a	L	a		
2.5間(1.0間+1.5間)	5360		4605	450	305	5885			5055	475	355	4845	580	460	5000	525	360			
3.0間(1.5間+1.5間)	6120	760	5510	305	6720		835		6010	355	5800	460	6000	360						
3.5間(1.5間+2.0間)	6880	(380)	6405	305	170	7555	(417.5)		6965	355	235	6755	460	340	7000	360	195			
4.0間(2.0間+2.0間)	7640	※1	7300	170	8390	※1			7920	235	7710	340	8000	195						
4.5間(1.5間+1.5間+1.5間)	9160		8265	447.5	10060				9015	522.5	8700	680	9000	530						
5.0間(1.5間+2.0間+1.5間)	9920		9160	380	10895				9970	462.5	9655	620	10000	447.5						

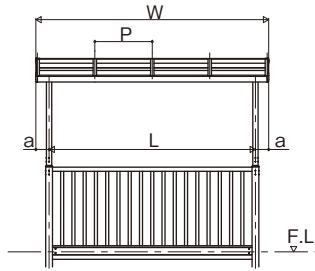
※屋根W寸法は部材の外々寸法を示します。キャップを含めた外々寸法は+7mm(片側3.5mm)。

※1:出幅8尺以上の屋根ピッチ(P寸法)は()内の寸法を示します。

■姿図

●ビューステージHスタイル接続

【F型】

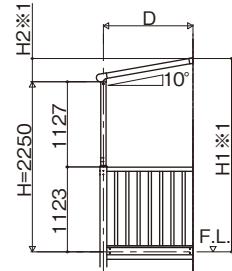


W:屋根幅(端部垂木～端部垂木)

L:柱芯々距離

P:垂木ピッチ

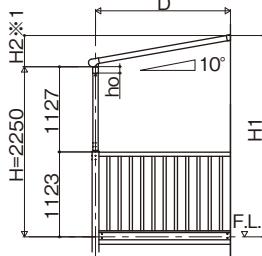
a:柱芯～屋根の幅



D:出幅寸法

H1:GL～垂木掛け上

H2:前枠下～垂木掛け上



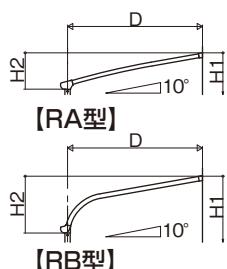
D:出幅寸法

H1:GL～垂木掛け上

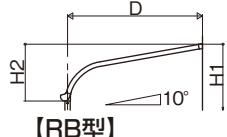
H2:前枠下～垂木掛け上

ho:補強桁高さ

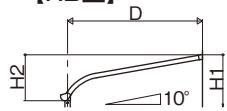
【L型】



【RA型】



【RB型】



※本図はF型の場合を示す。

■寸法図(mm)

間口	関東間				九州四国間		メーター		
	W	P	L	a	W	P	L	a	
1.0間	2320	760 (380)	1820	250	2545	835 (417.5)	1910	317.5	2000 272.5
1.5間	3080		2730	175	3380		2865	257.5	3000 190
2.0間	3840		3640	100	4215		3820	197.5	4000 107.5
2.5間通し	5360		4550	405	5885		—	—	—
2.5間(1.0間+1.5間)	5360		4550	480 330	5885		4775	615 495	5000 525 360
3.0間(1.5間+1.5間)	6120		5460	330	6720		5730	495	6000 360
3.5間(1.5間+2.0間)	6880		6370	330 180	7555		6685	495 375	7000 360 195
4.0間(2.0間+2.0間)	7640		7280	180	8390		7640	375	8000 195
4.5間(1.5間+1.5間+1.5間)	9160		8190	485	10060		8595	732.5	9000 530
5.0間(1.5間+2.0間+1.5間)	9920		9100	410	10895		9550	672.5	10000 447.5

※屋根W寸法は部材の外々寸法を示す。キャップを含めた外々寸法は+7mm(片側3.5mm)。

※出幅9尺の屋根ピッチ(P寸法)は()内の寸法とする。

■寸法図(mm)

			F型		L型		RA型		RB型		ho(補強桁高さ)			
タイプ	出幅	D	H1	H2	H1	H2	H1	H2	H1	H2	1.0～2.0間	2.5間通し		
900 タイプ	3尺	885	2504	254	2549	299			2699	449	—	※1		
	4尺	1185	2557	307	2602	352			2752	502		関東間※1 関西間85		
	5尺	1485	2610	360	2678	428			2805	555				
	6尺	1785	2663	413	2731	481			2858	608				
	9尺	2685	2822	572	3046	796			3016	766	85	120		
1500 タイプ	3尺	885	2504	254					2699	449	※1			
	4尺	1185	2557	307					2752	502				
	5尺	1485	2610	360					2805	555				
	6尺	1785	2663	413					2858	608				
	9尺	2685	2822	572					3016	766	120	※1		

※1はH1,H2+25とする。

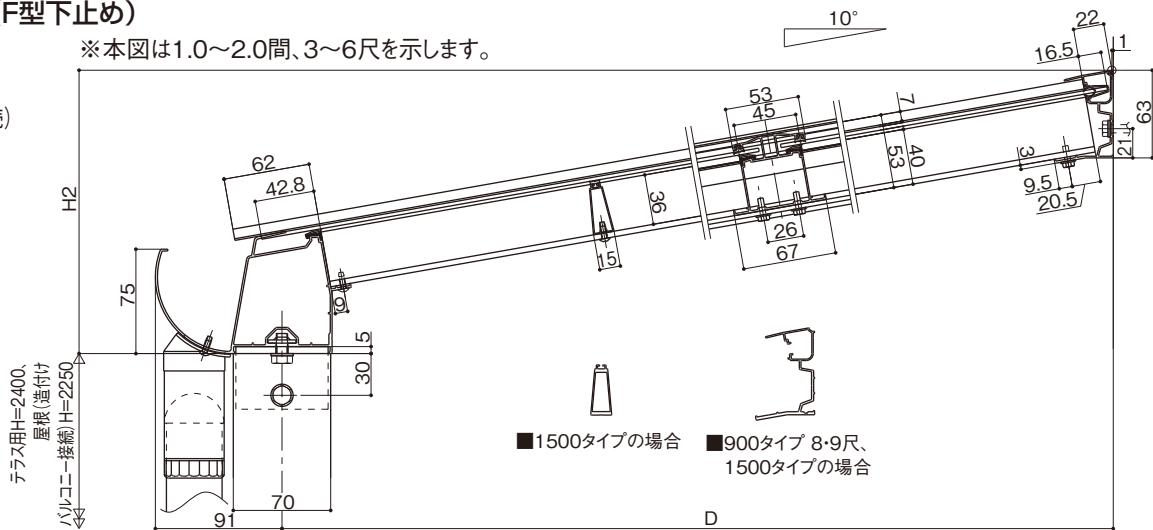
※本図は標準柱を示す。長尺柱は、標準柱の+600mm。

■納まり図

●縦断面図(F型下止め)

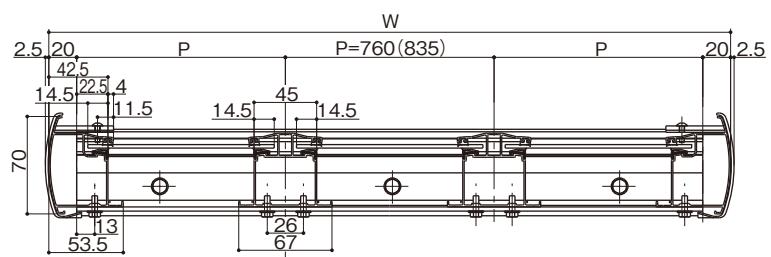
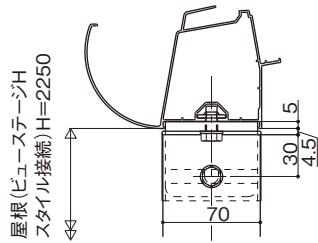
- ・テラス
- ・屋根(造付け
バルコニー接続)

※本図は1.0~2.0間、3~6尺を示します。



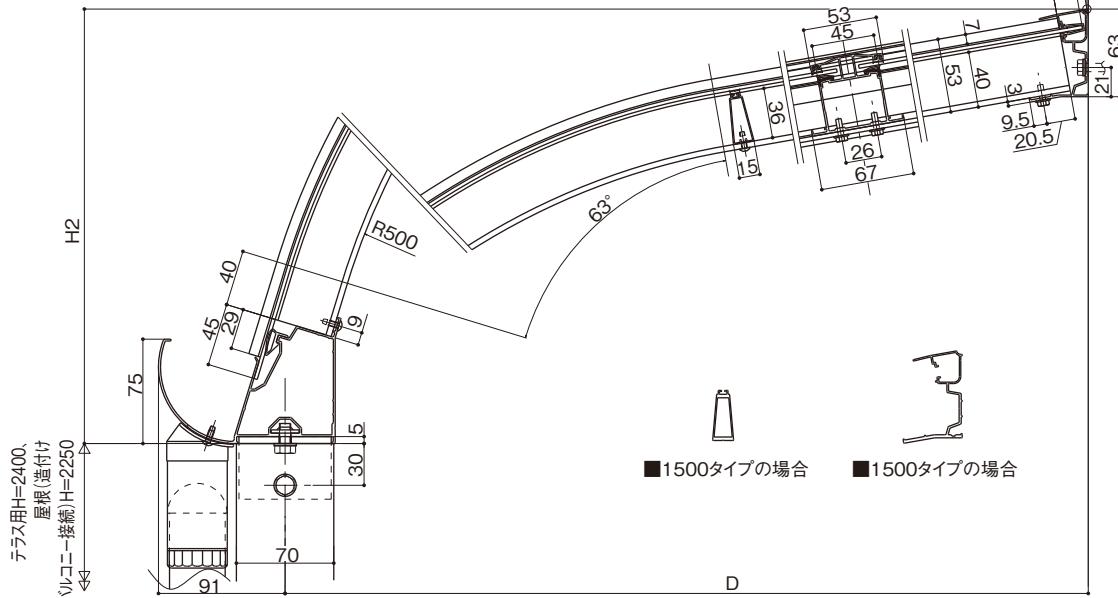
- ・屋根(ビューステージHスタイル接続) (3~6尺)

●横断面図(F型下止め) ※本図の前枠側は1.0~2.0間、3~6尺の納まりを示します。
※()内寸法は関西間・九州四国間・メーターを示します。



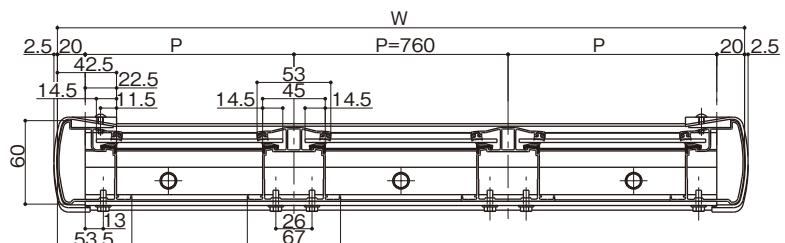
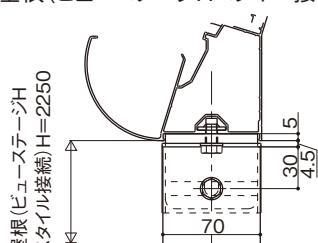
●縦断面図(RA型下止め) ※本図は1.0~2.0間、5・6尺を示します。

- ・テラス
- ・屋根(造付け
バルコニー接続)



- ・屋根(ビューステージHスタイル接続)

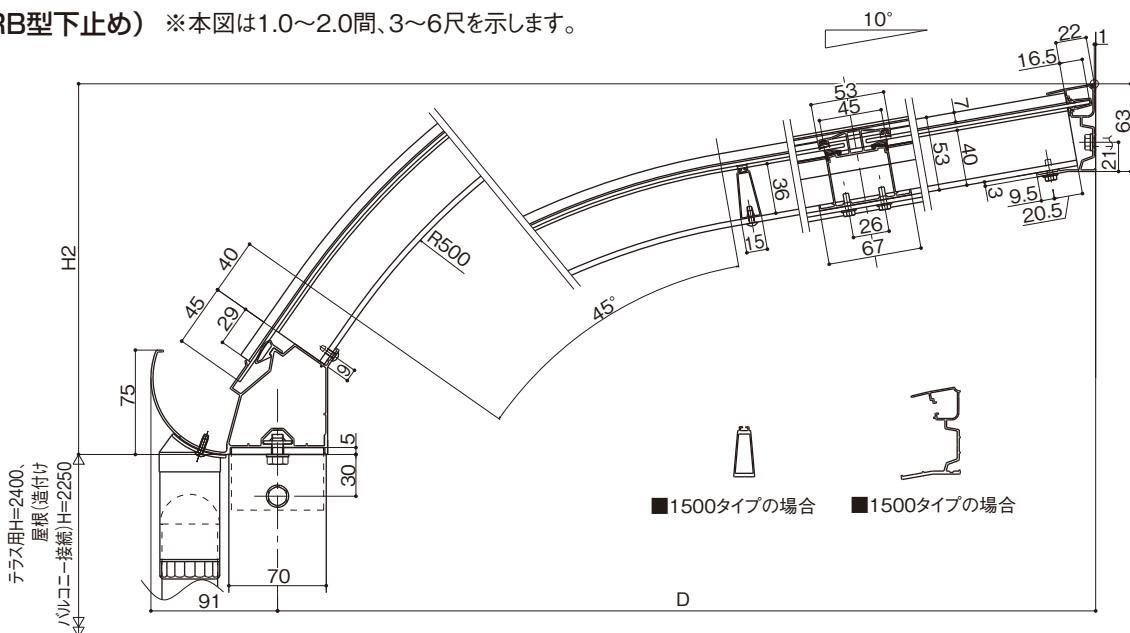
●横断面図(RA型下止め) ※本図の前枠側は1.0~2.0間、5・6尺の納まりを示します。



■納まり図

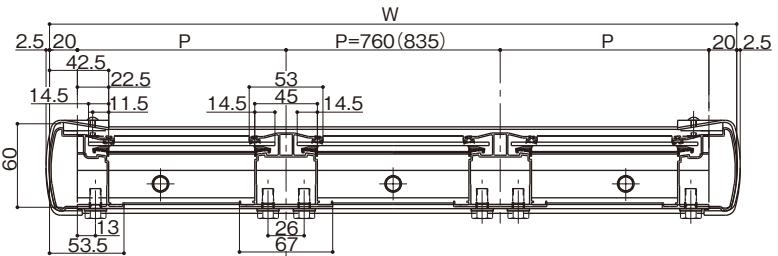
●縦断面図(RB型下止め) ※本図は1.0~2.0間、3~6尺を示します。

- ・テラス
- ・屋根(造付け
バルコニー接続)



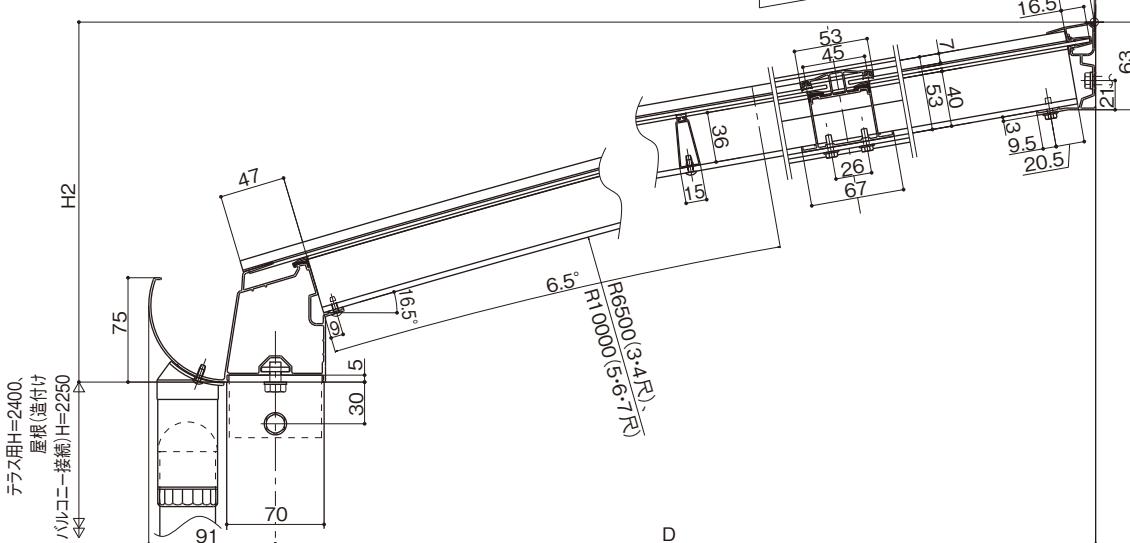
●横断面図(RB型下止め) ※本図の前枠側は1.0~2.0間、3~6尺の納まりを示します。

- ・屋根(ビューステージHスタイル接続) (3~6尺)



●縦断面図(L型下止め) ※本図は1.0~2.0間、3~6尺を示します。

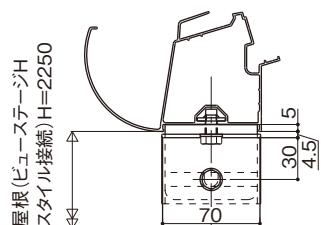
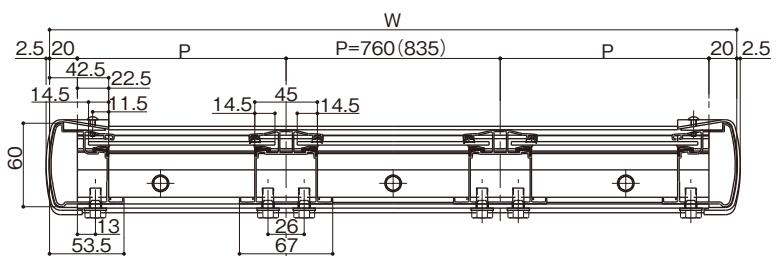
- ・テラス
- ・屋根(造付け
バルコニー接続)



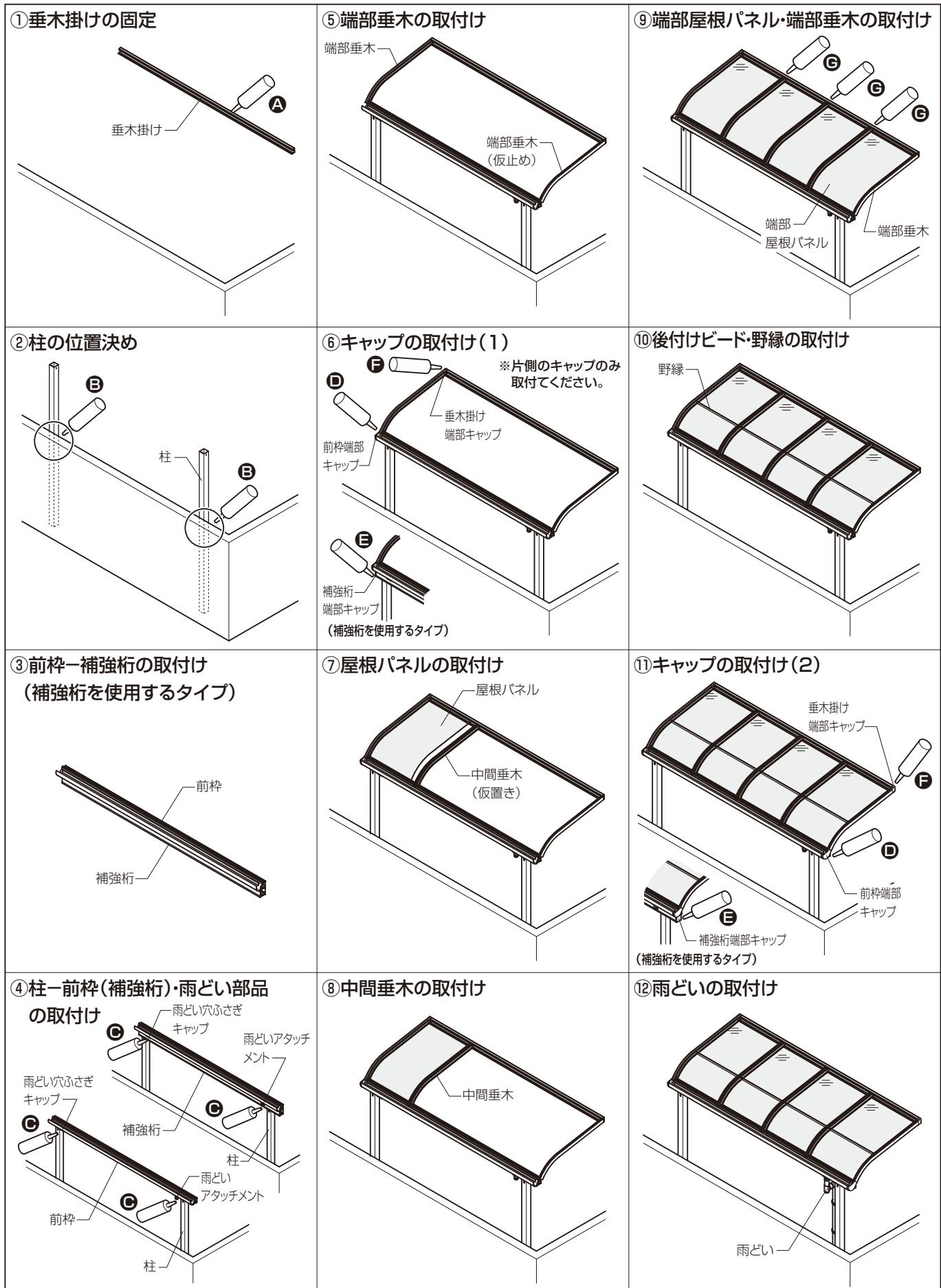
- ・屋根(ビューステージHスタイル接続) (3~6尺)

●横断面図(L型下止め)

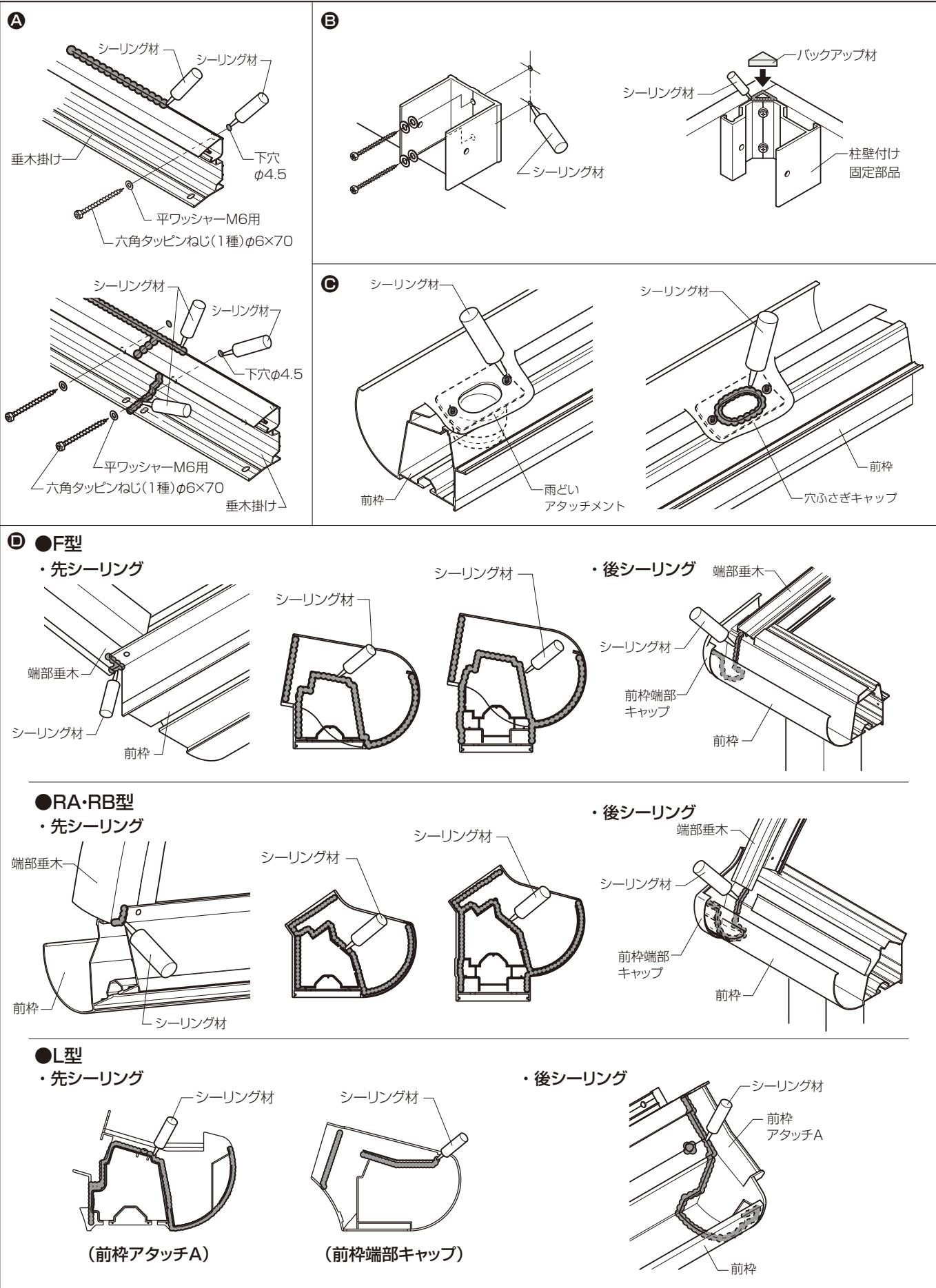
※本図の前枠側は1.0~2.0間、3~6尺の納まりを示します。
※()内寸法は関西間・九州四国間・メーターを示します。



■取付け順序



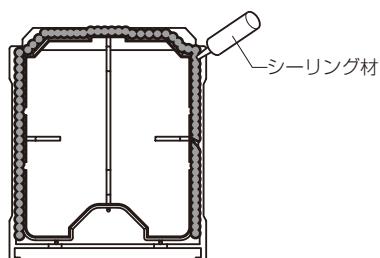
■シーリング個所



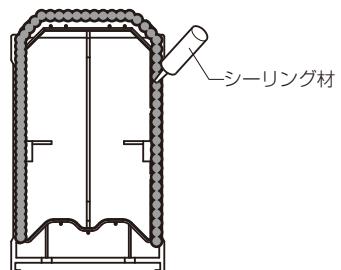
■シーリング個所

E

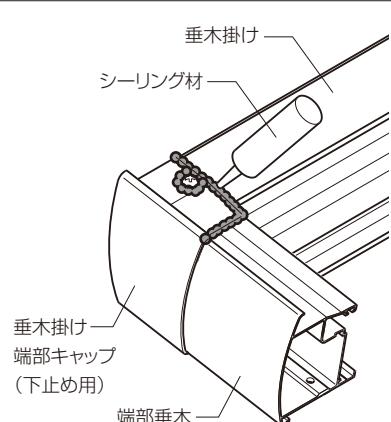
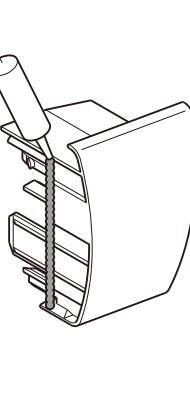
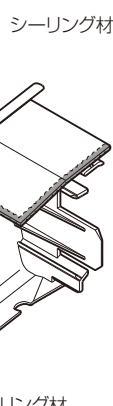
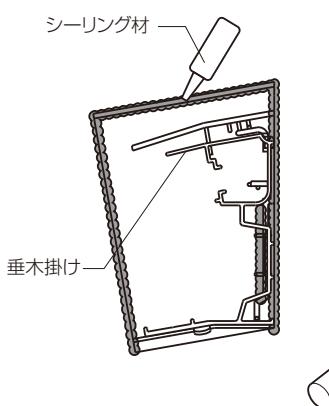
●補強桁A端部キャップ



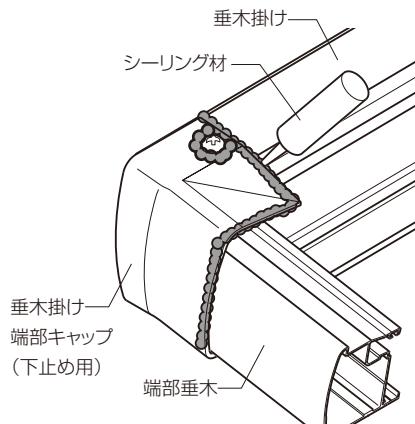
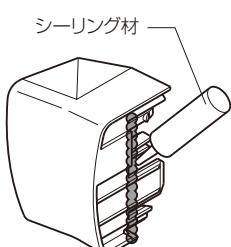
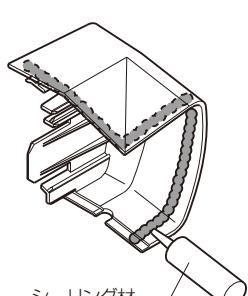
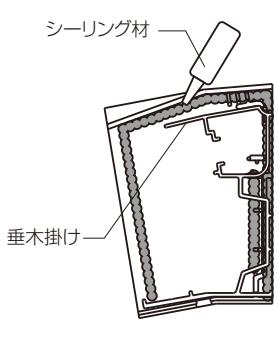
●補強桁B・C端部キャップ



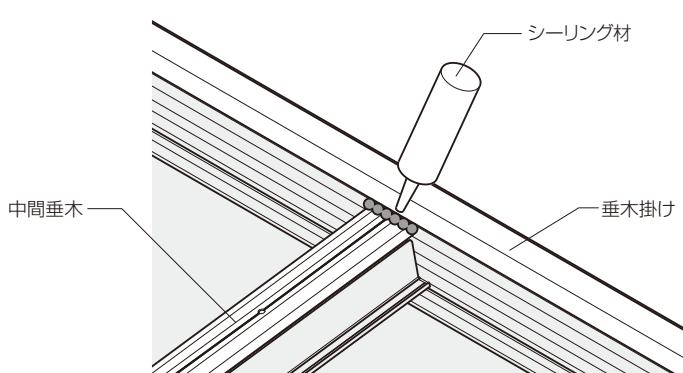
F ●F型



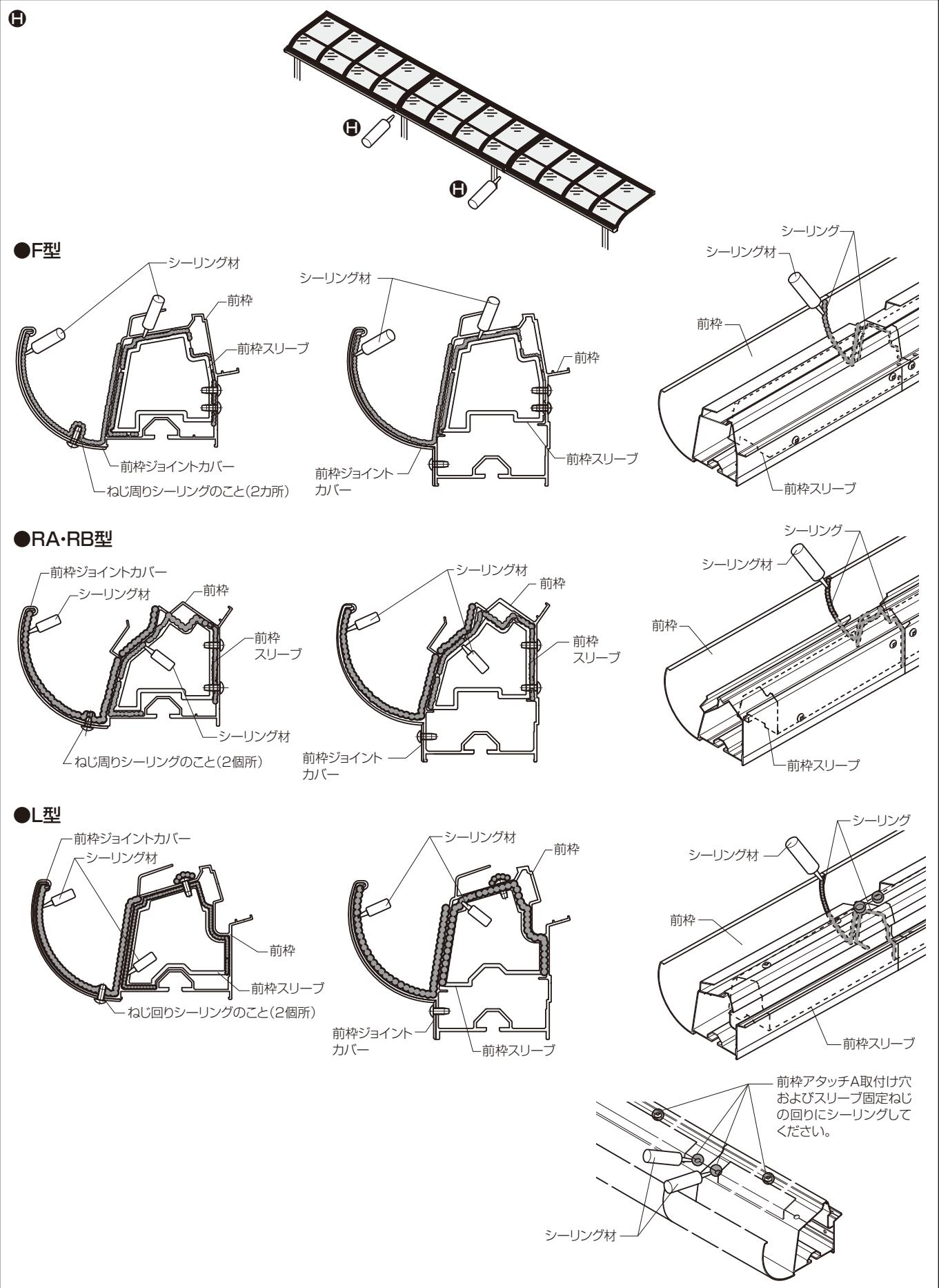
●RA・RB・L型



G



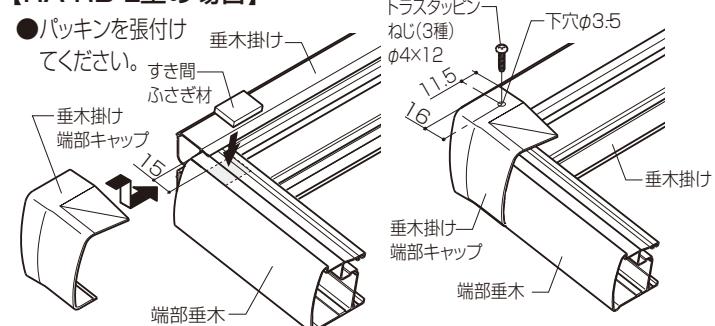
■シーリング個所



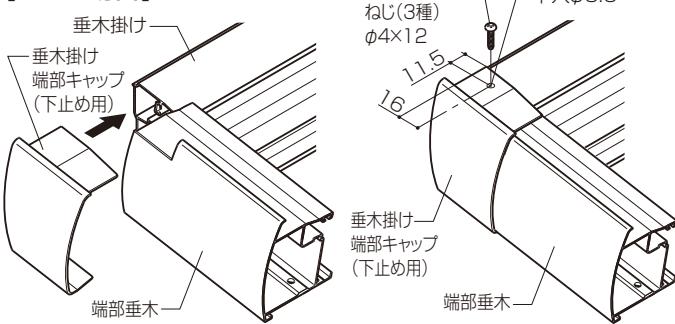
■構造説明図 I (取付け順序①~⑥)

■垂木掛け端部キャップの取付け詳細図

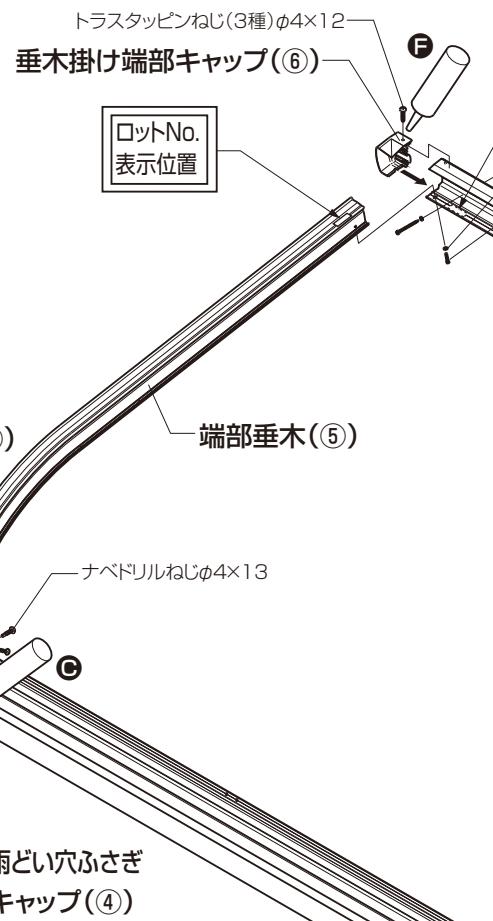
【RA・RB・L型の場合】



【F型の場合】



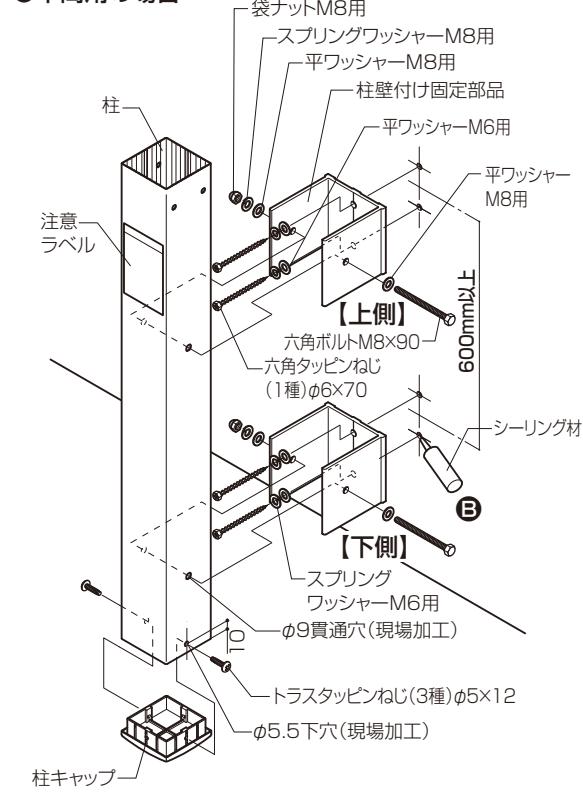
※図は、パワーアルファRB型900タイプ
出幅4尺造付けバルコニー接続を示します。



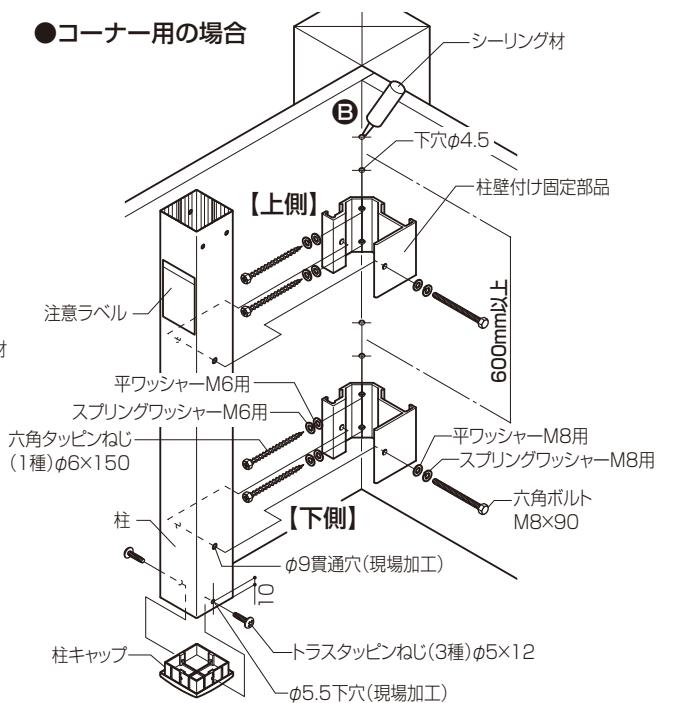
■造付け柱取付け詳細図

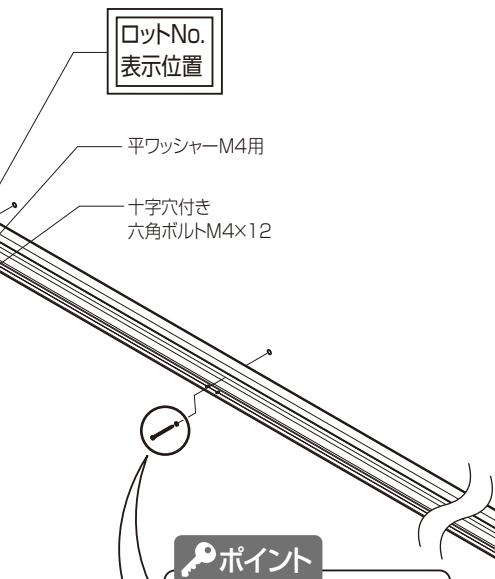
※造付け柱以外の取付け方法は別紙参照願います。

●中間用の場合



●コーナー用の場合

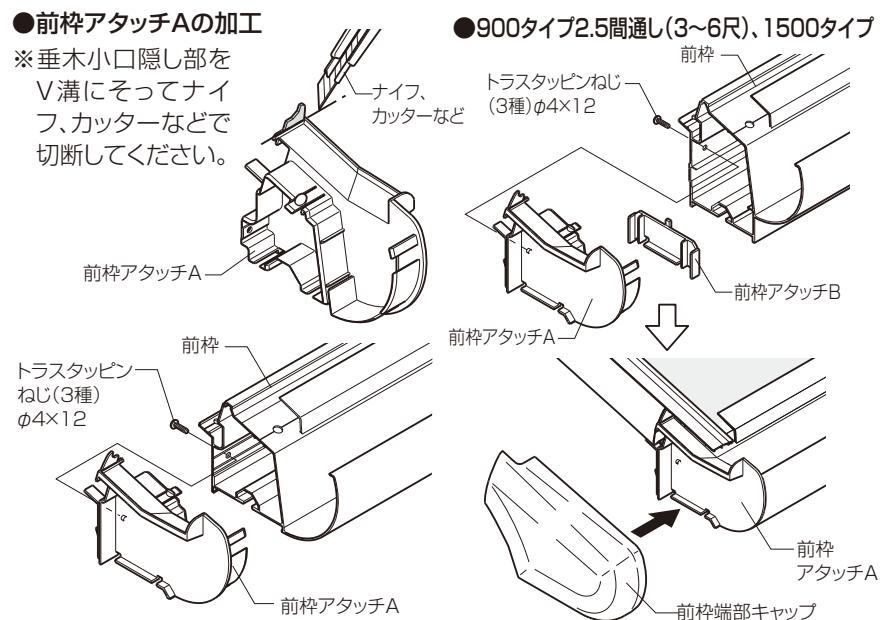




■前枠端部キャップの取付け詳細図(L型)

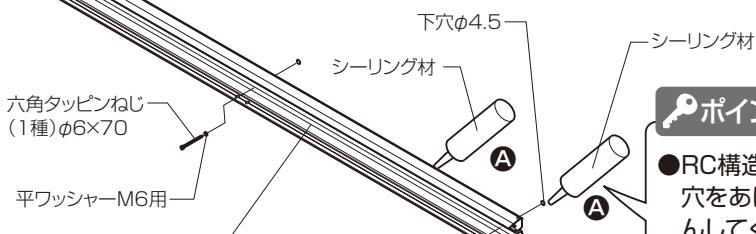
●前枠アタッチAの加工

※垂木小口隠し部をV溝にそってナイフ、カッターなどで切断してください。



ポイント

- 軽量鉄骨の場合は、締付けの際、インパクトドライバーを使用しないでください。



ポイント

- RC構造の場合は、 $\phi 6.4$ の下穴をあけシーリング材を充てんしてください。
- 軽量鉄骨の場合は $\phi 4.5$ の下穴をあけシーリング材を充てんしてください。

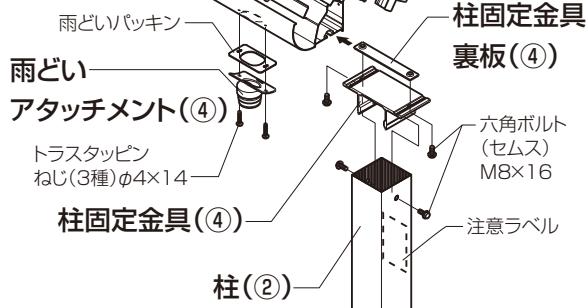
前枠(④)

垂木掛け(①)
※垂木掛けに躯体の柱および間柱の位置に合わせて、V溝の位置に $\phi 6.5$ の穴をあけてください。

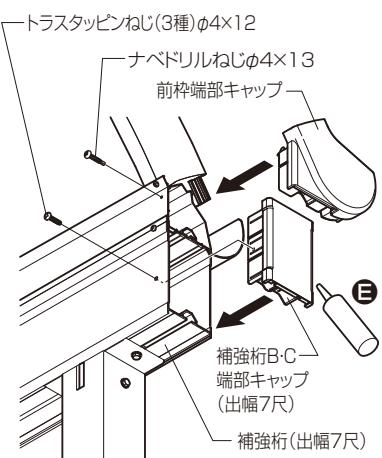
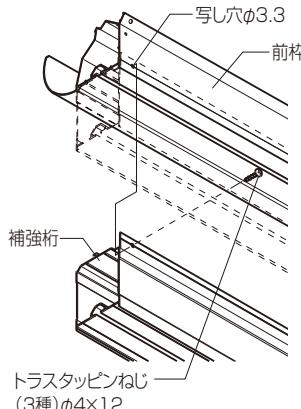
端部垂木
(仮止め)(⑤)

ポイント

- 垂木掛け下にシャッターBOXなどの障害物があり、インパクトドライバーを使用できない場合、垂木の穴にM4タップ加工をしてください。



【補強桁を使用する場合】

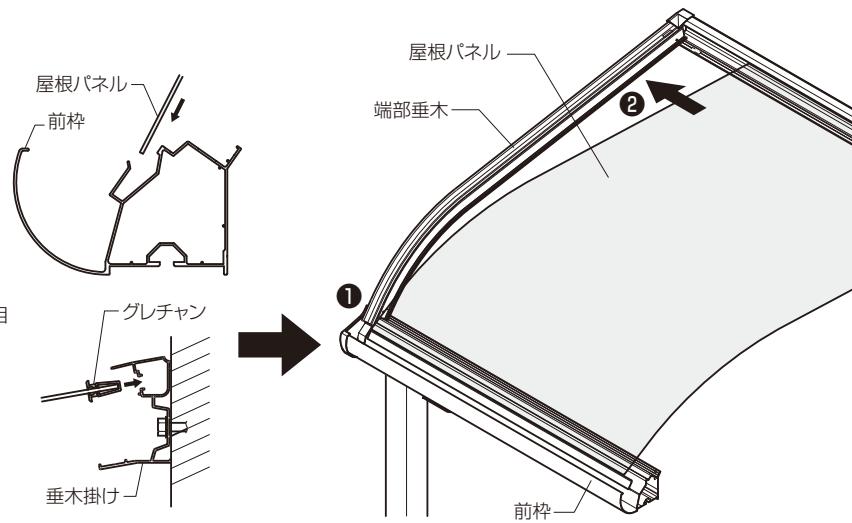
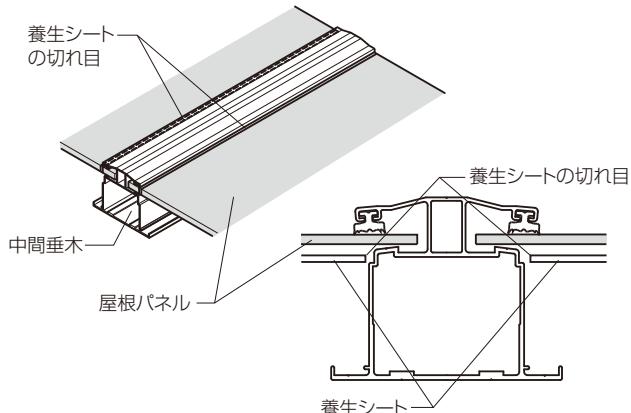


■構造説明図II(取付け順序⑦~⑪)

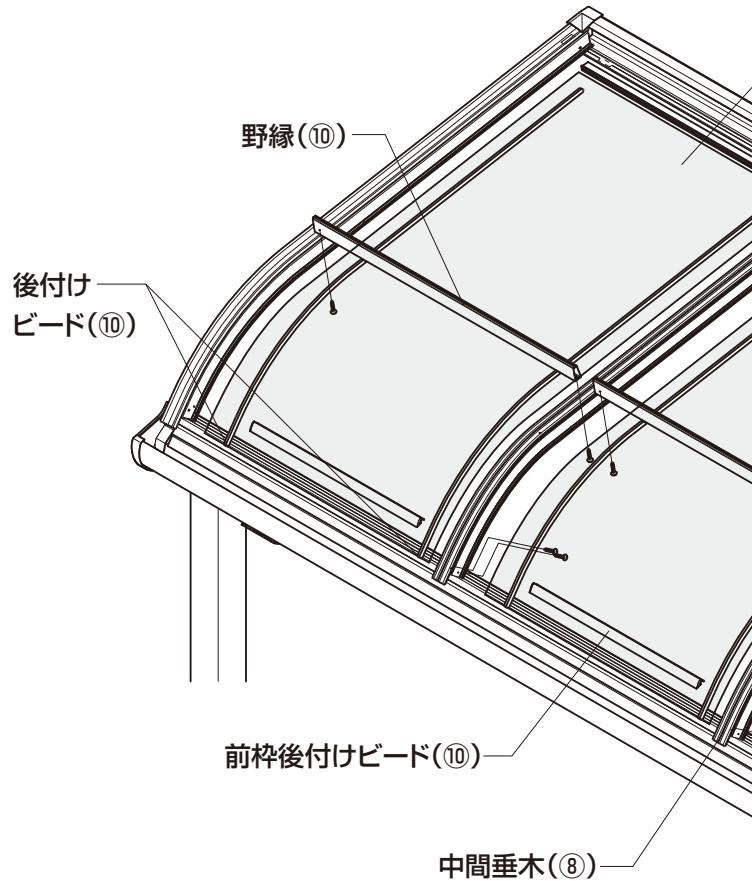
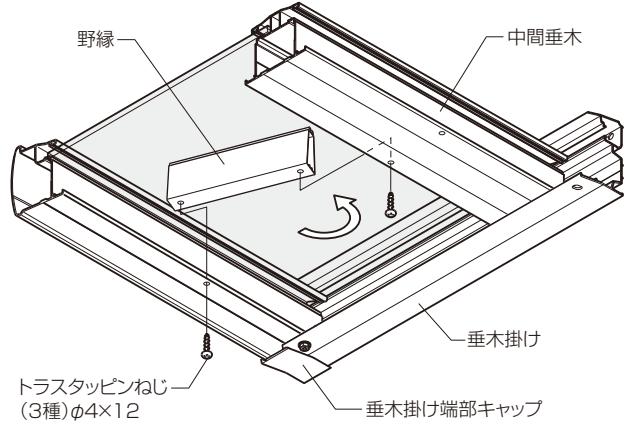
■ポイント

■屋根パネル取付け詳細図

- 屋根パネルは、パネルののみこみが左右均等になるように取付けてください。



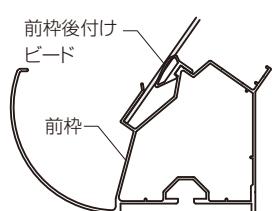
■野縁取付け詳細図



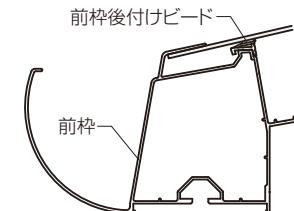
■後付けビード詳細図

●前枠

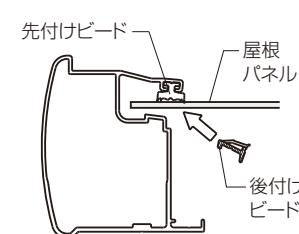
(RA・RB型)



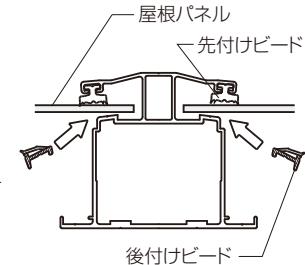
(F・L型)



●端部垂木

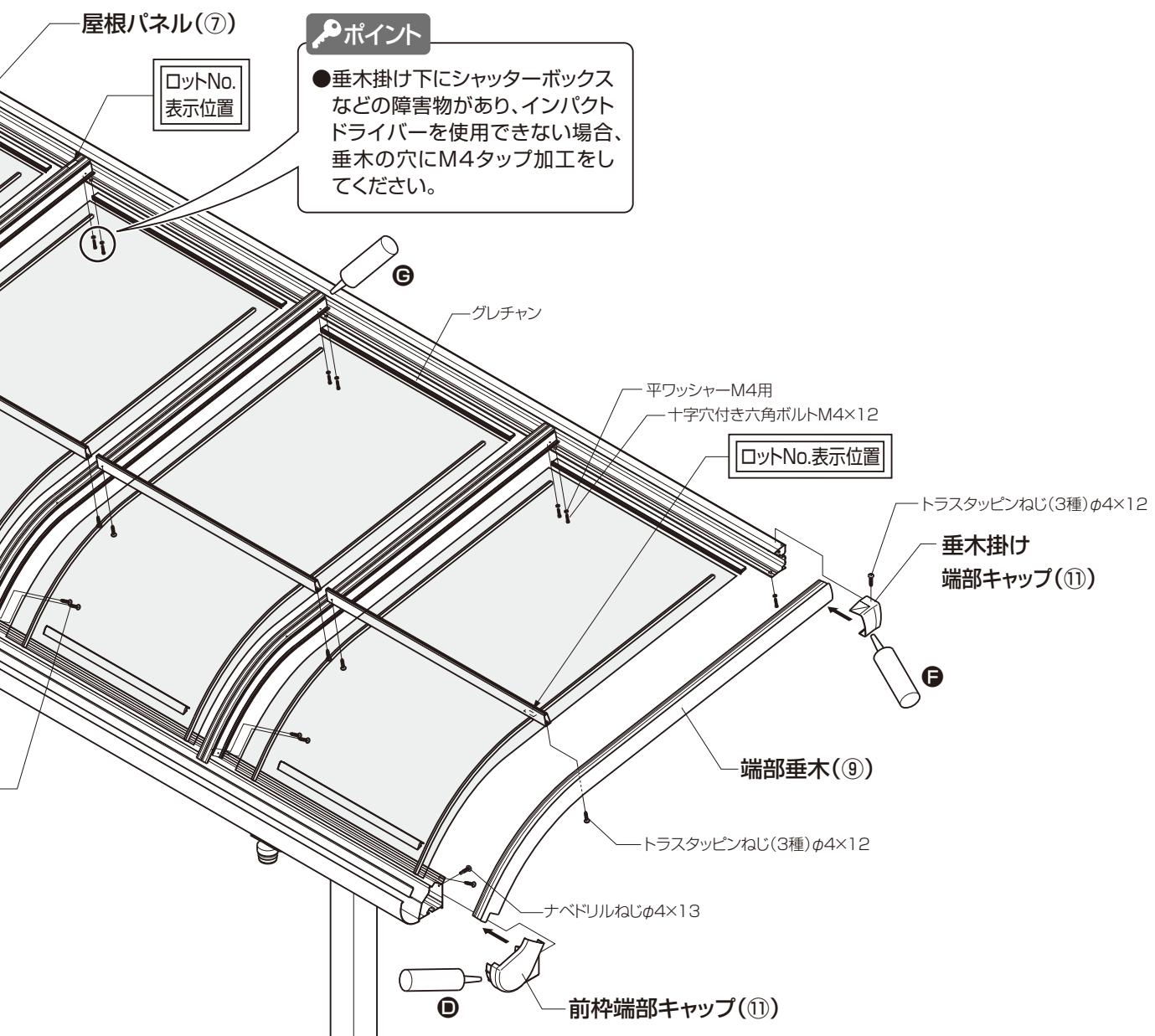
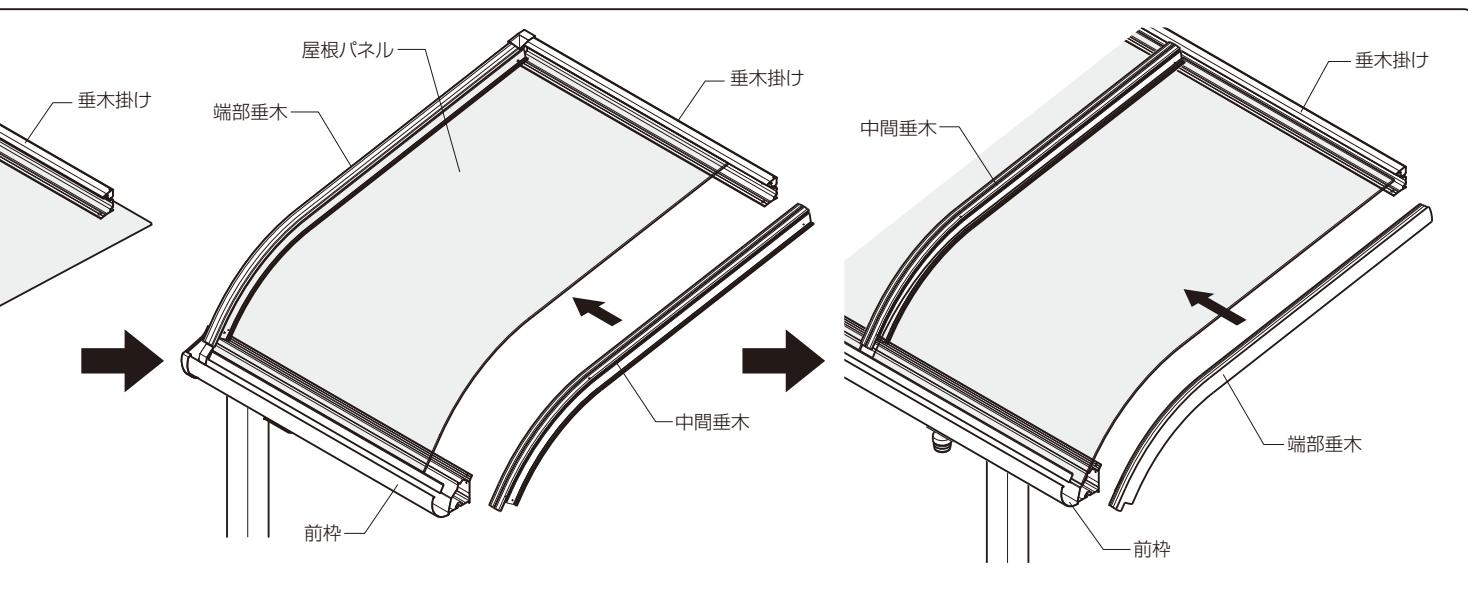


●中間垂木

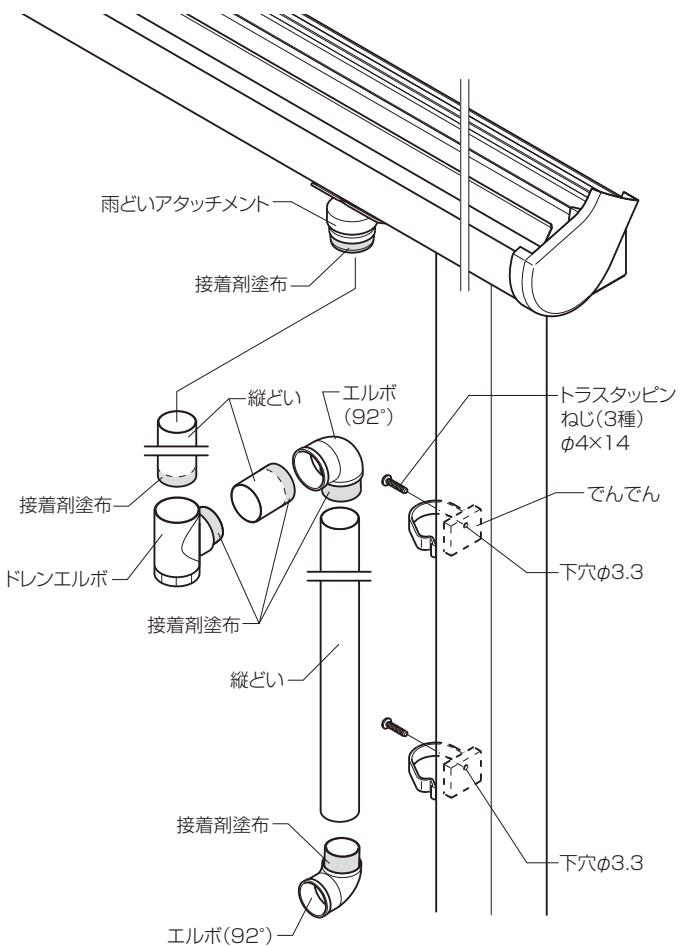


トラスタッピングねじ
(3種)φ4×12

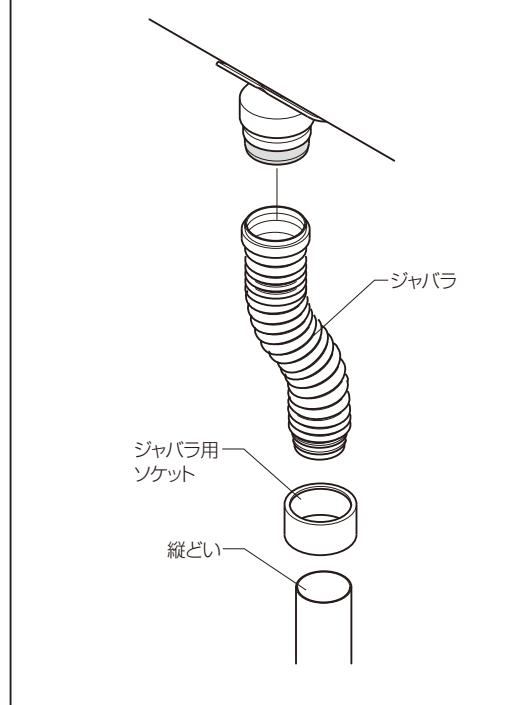
※図は、パワーアルファRB型900タイプ
出幅4尺造付けバルコニー接続を示します。



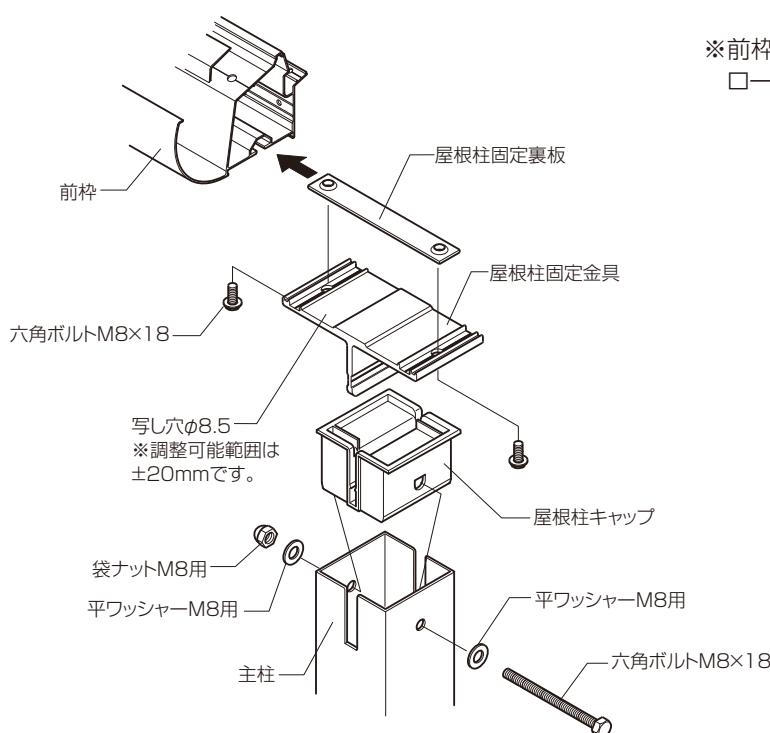
■構造説明図III(取付け順序⑫)



※柱移動によりドレンエルボが使用できない場合はジャバラを使用してください。



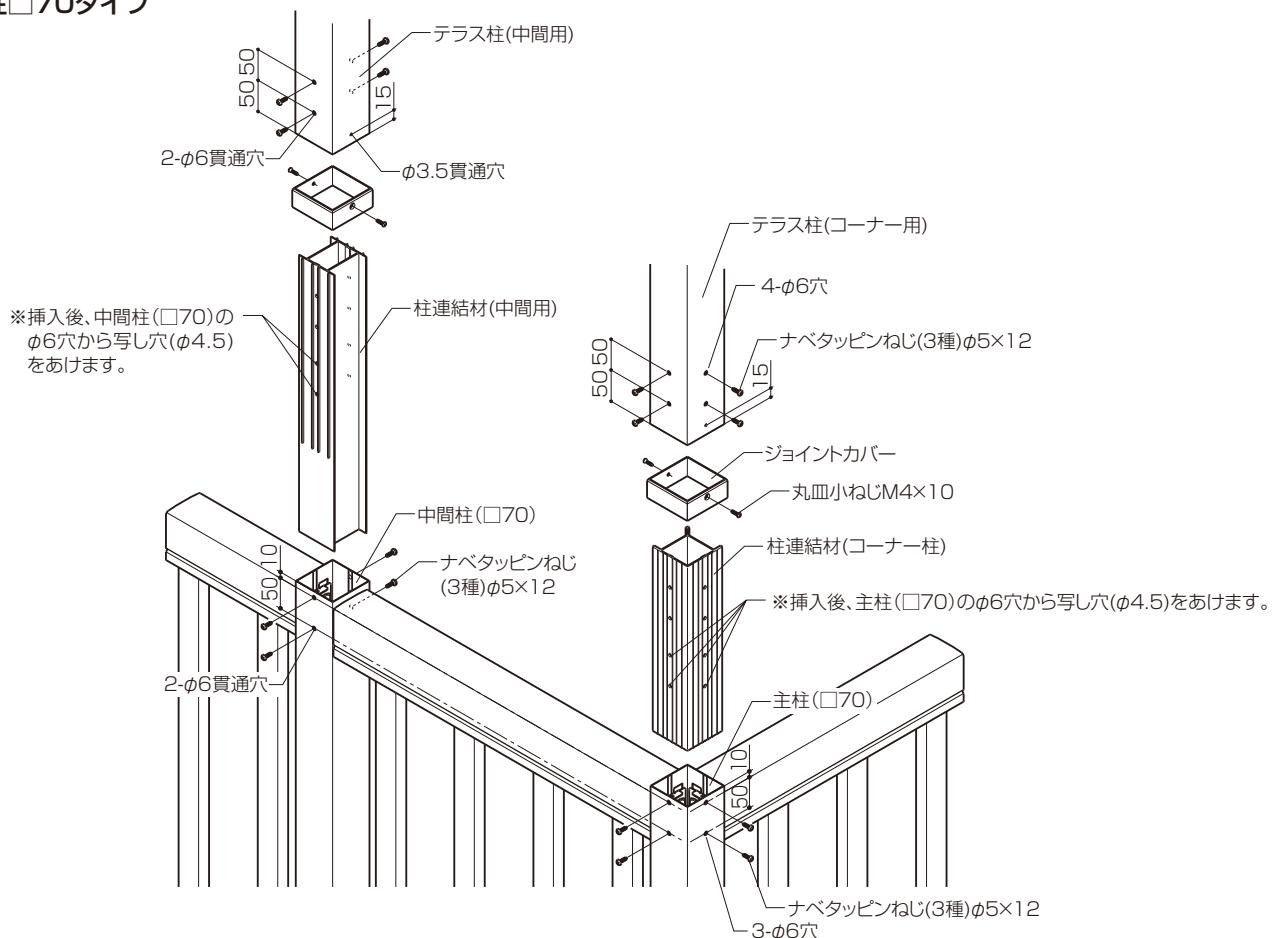
■柱の施工について〈柱をアルミバルコレニーに接続する場合〉



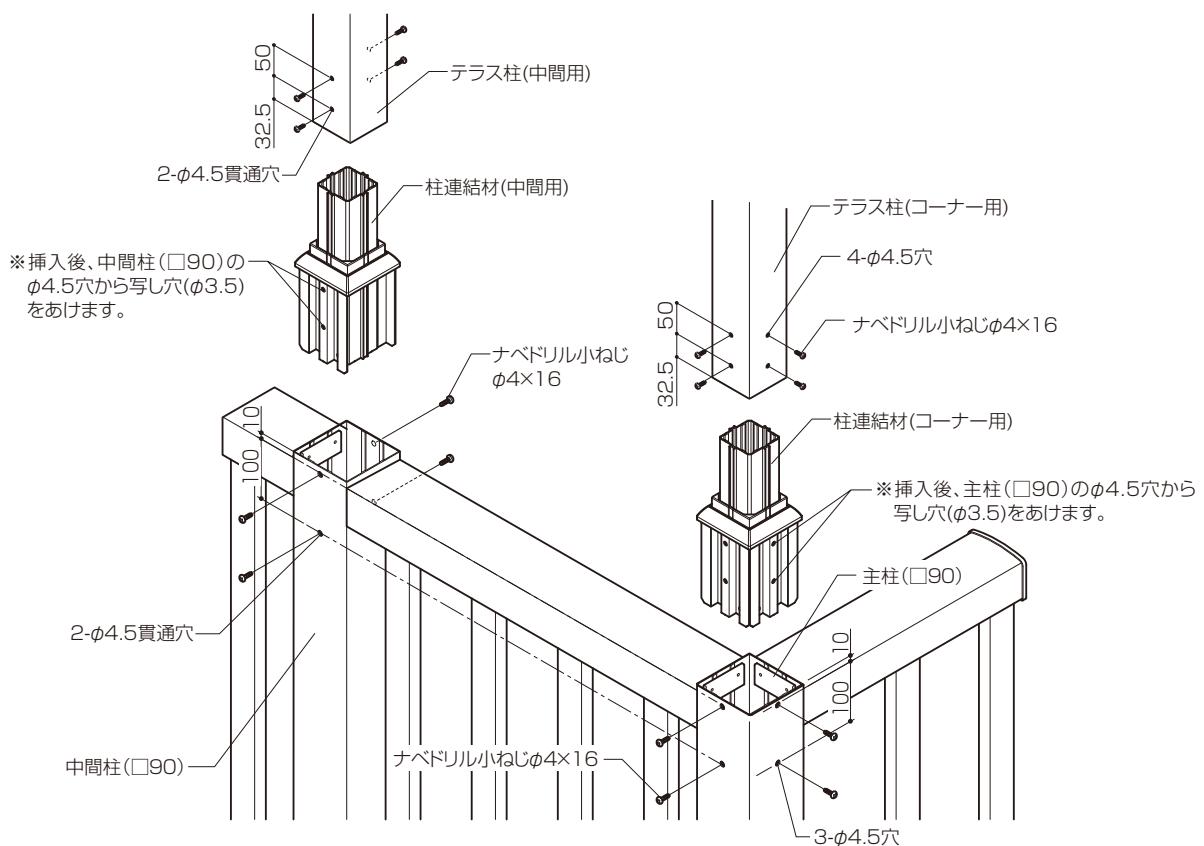
※前枠取付けの際は、前枠が柱から落ちないようにロープで仮止めするなど、十分にご注意ください。

■柱の施工について〈柱をアルミバルコニーに接続する場合〉

●柱□70タイプ

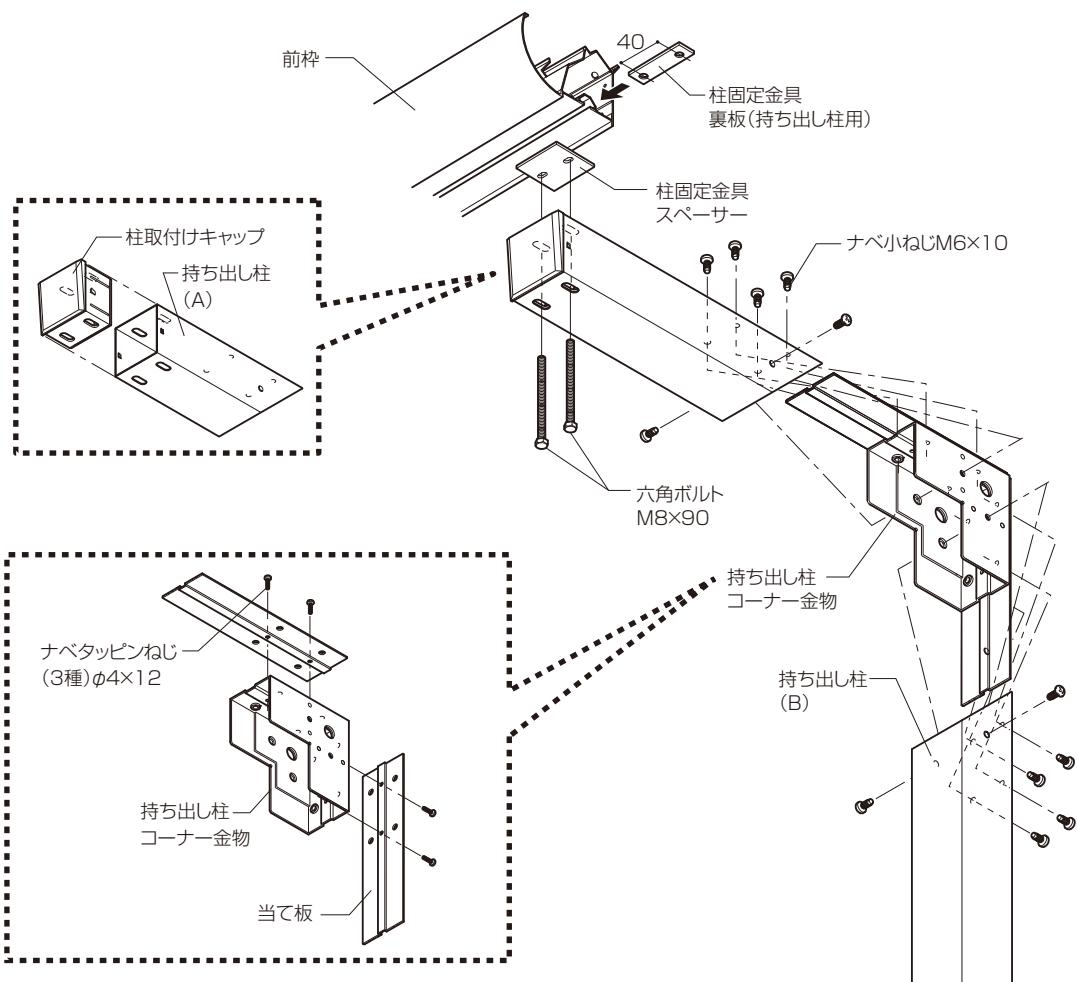


●柱□90タイプ(ビューステージHスタイル接続)



■柱の施工について(持ち出し柱を使用する場合)

※はじめに必ず柱取付けキャップを取付けてください。
※柱固定金具裏板は持ち出し柱用(穴ピッチ40)を使用してください。



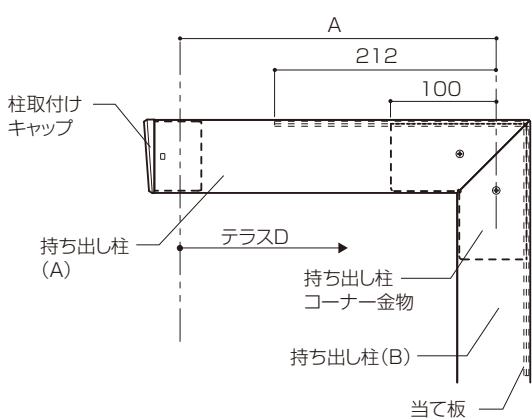
(持ち出し柱の切詰め)

●図、切詰め寸法計算式および加工図より、切詰め加工してください。

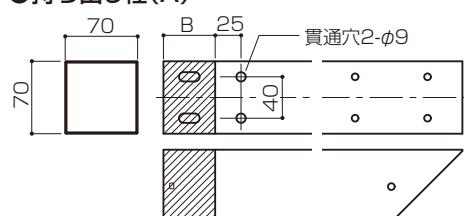
※切詰め寸法は180mmまで可能です。

(切詰め寸法計算式)

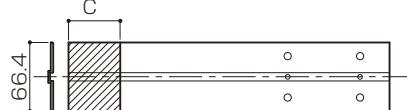
- ・B=300-A(切詰め寸法Bは0~180mmまで可能です。)
- ・C=232-A(A寸法が232以上の場合、C=0です。)



●持ち出し柱(A)



●当板(持出し柱A側)



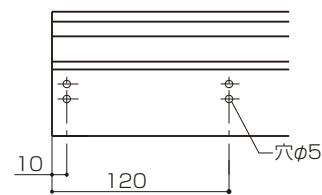
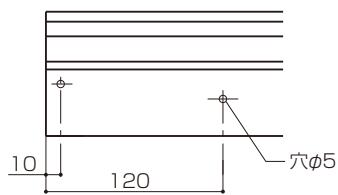
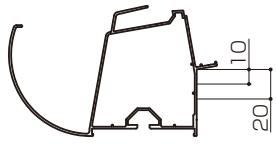
■連棟の場合

■前枠の加工

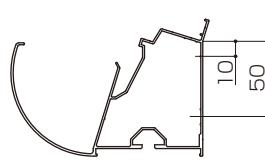
【連棟部に柱を取付ける場合】

【連棟部に柱を取付けない場合】

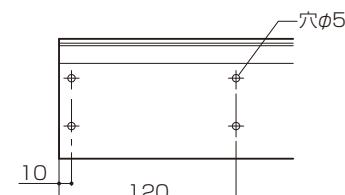
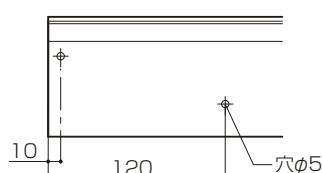
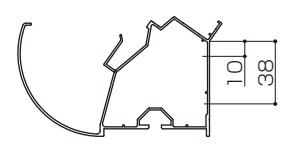
●F型



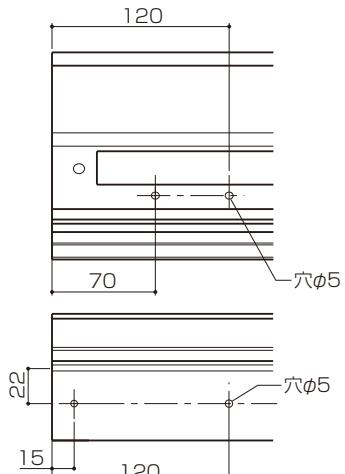
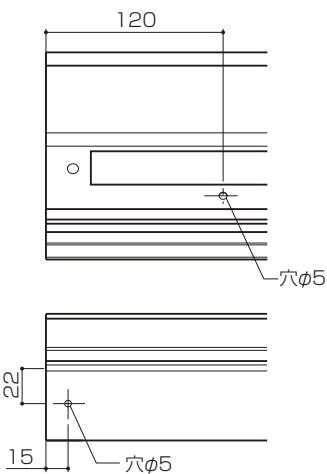
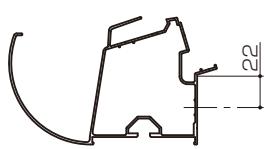
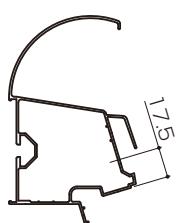
●RA型



●RB型

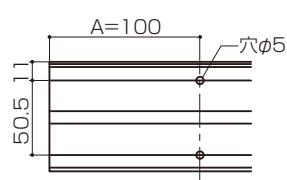
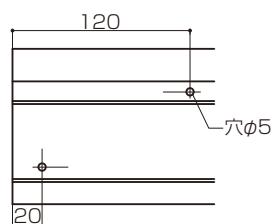
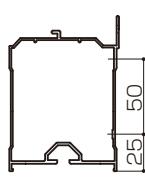


●L型

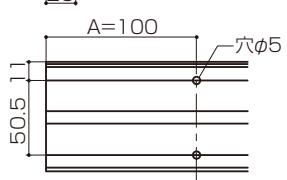
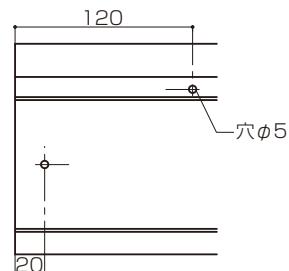
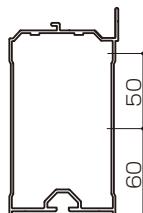


■補強桁の加工

●補強桁A



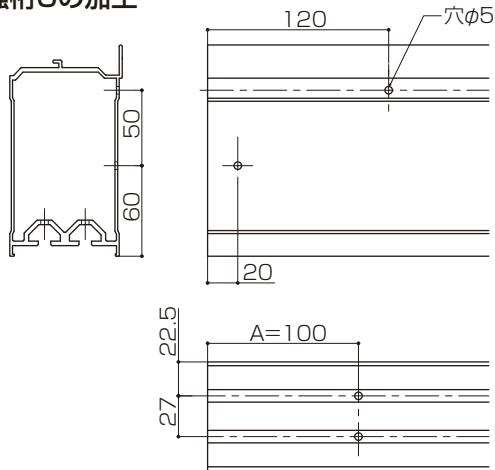
●補強桁B



※連結部から柱を移動させた場合、ねじが柱固定金具と干渉する場合がありますので、柱固定金具をよけた所に加工してください。ただし、A寸法は連結部より120mm以内にしてください。

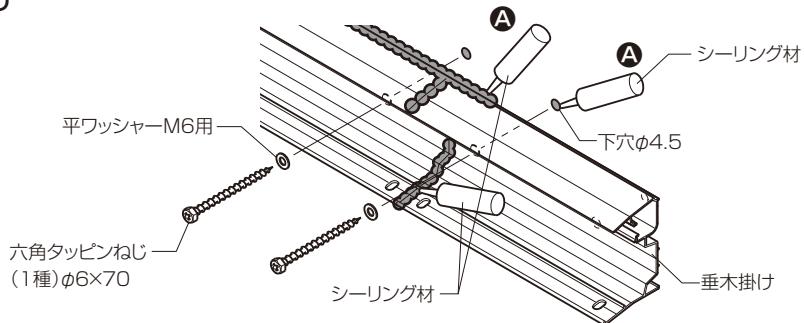
■連棟の場合

●補強桁Cの加工

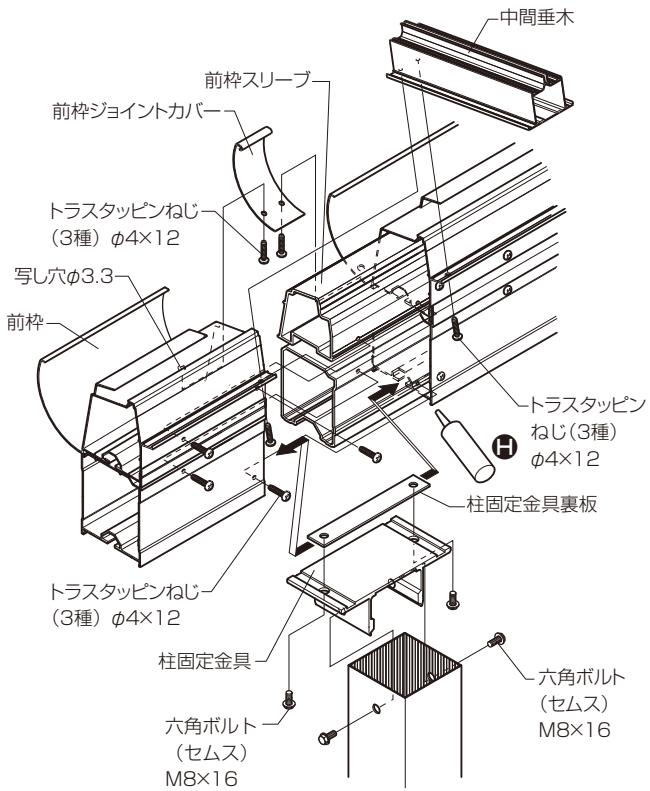


※連結部から柱を移動させた場合、ねじが柱固定金具と干渉する場合がありますので、柱固定金具をよけた所に加工してください。ただし、A寸法は連結部より120mm以内にしてください。

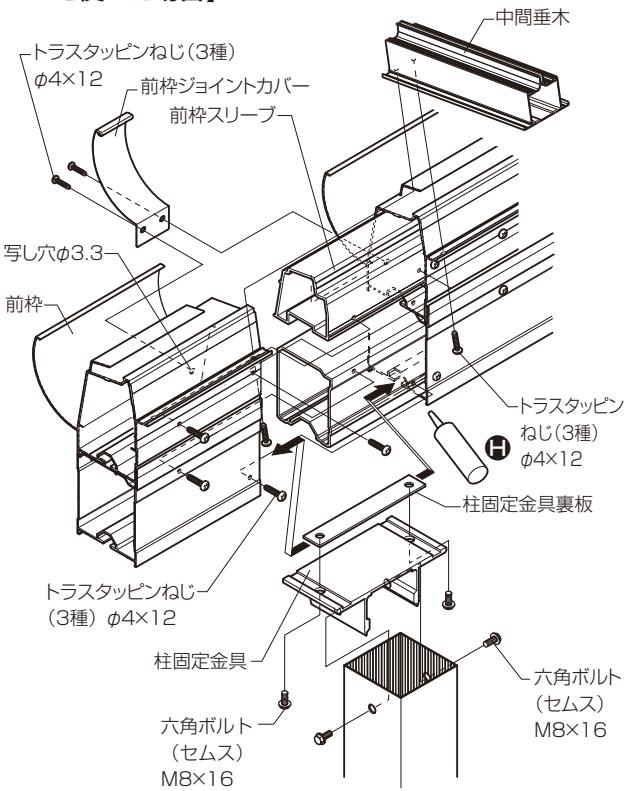
■垂木掛けの取付け



■前枠連結部の組立て



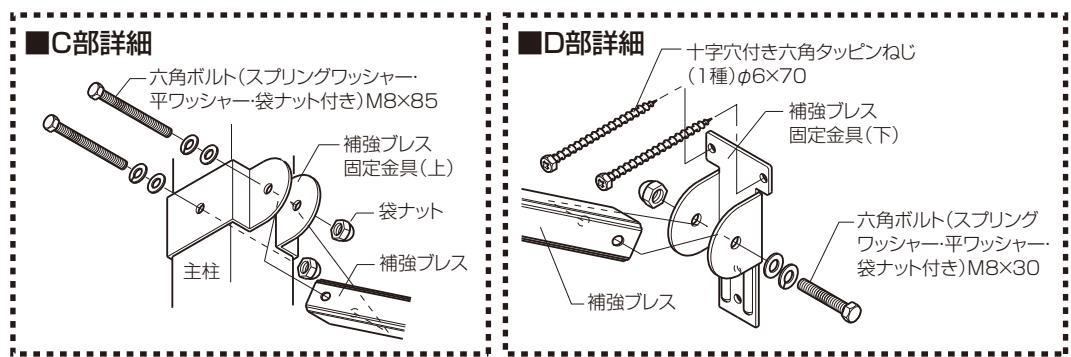
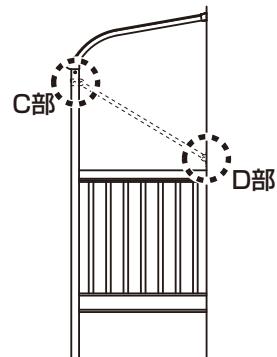
【前枠B・Cを使った場合】



※連棟部に柱を取付けない場合は、前枠スリーブをねじ8本で固定してください。

■補強プレスの取付け

- 高い建物のそばや周りに障害物が少ないなどで、直接強い風が吹くような場所では補強プレスで製品の補強をしてください。



MEMO

MEMO
